

## 第5章 重点推進プロジェクト

### 第1節 プロジェクトの位置付け

第3期みやぎ農業農村整備基本計画では、「強靱な農業・農村」を土台として、「儲ける農業」と「活力ある農村」の形成を目指し、第4章に掲げる各種施策を推進していくこととしています。

これら施策の推進にあたっては、限られた財源を効率的・効果的に活用するとともに、緊急性が高く、県民ニーズや地域課題に即応した事業展開を図ることが必要であることから、基本項目毎に「重点推進プロジェクト」を設定し、今後5年間において優先的かつ重点的に取り組むこととしています。

#### ○基本項目1 「人口減少下で持続的に発展する農業の振興」 関連

##### ➤ 収益力向上に向けた基盤整備プロジェクト

###### 【プロジェクトのねらい】

- 農地の大区画化のほか、地域の特性を活かした収益性の高い作物の導入に向けた水田の汎用化を推進します。

#### ○基本項目2 「多様な主体が活躍できる農村の構築」 関連

##### ➤ 地域と関わりを持つ関係人口の創出プロジェクト

###### 【プロジェクトのねらい】

- 農山漁村交流拡大プラットフォームにより、ビジネスを展開したい農林漁業者や団体、さらに県内外の企業や個人とのネットワークを構築し、新たな関係人口を創出します。

#### ○基本項目3 「自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化」 関連

##### ➤ 農村の暮らしを守る防災・減災対策プロジェクト

###### 【プロジェクトのねらい】

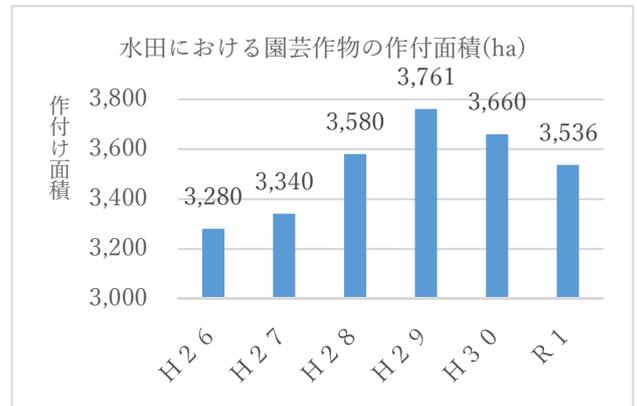
- 農村地域の安全・安心な暮らしを守るため、防災重点農業用ため池に係る防災対策を推進するほか、田んぼダムに取り組みます。

## 第2節 取組内容

### ①収益力向上に向けた基盤整備プロジェクト

#### (1) 現状と課題

- ・本県の水田整備率（30a程度以上）は、69.0%(R元)と全国平均を上回り、特に、大区画水田(50a以上)整備率は30.0%と全国1位となっています。
- ・こうした本県の強みを活かしながら、収益性の高い農業を展開していくためには、省力・低コスト化に向けた生産基盤の整備に加え、水田の汎用化や農業用水の高度利用などの取組により、高収益作物の導入を図っていくことが重要です。
- ・しかしながら、本県の水田における園芸作物の作付面積は、近年の気象災害やほ場の排水不良による湿害等の発生から、平成29年度をピークに減少傾向にあり、収益力の向上に当たっては暗渠排水等の整備によるほ場の条件改善が課題の一つとなっています。
- ・また、生産条件が不利で規模拡大が困難な中山間地域においては、現状の水稲を主体とした農業だけでは営農の継続が立ち行かなくなることや、耕作放棄地の拡大等が懸念されており、基盤の整備により農業経営を継続できる環境を整備する必要があります。



#### (2) プロジェクトの推進指標

推進指標	基準年 (R1)	R7	R12
大区画化水田整備面積 [ha]	35,397	37,500	39,300
汎用化水田の面積 [ha]	78,787	81,100	83,100
野菜等の高収益作物を導入する新規地区数 [地区]	4	30	60

#### (3) 具体的取組

- ・農地整備事業については地元ニーズが高く、今後5年間（R3～R7）で約3千haの事業要望があることから、高収益作物の導入など需要に応じた作物生産や地域の目指す営農構想の実現に向けて、関係機関と連携した事業計画づくりに取組みます。
- ・事業計画の策定にあたっては、ばれいしょ、玉ねぎ、ねぎ、キャベツ等の機械化体系が可能な土地利用型露地園芸作物や、地域の振興作物を中心に作付け計画を策定します。また、地域内で栽培する作物等を考慮し、地下かんがいシステム等の導入を検討します。
- ・農地整備事業等を活用し排水改良といった条件整備を進めることで、露地園芸団地の形成を後押しするほか、農地集積により大規模露地園芸団地の創出を支援します。
- ・面積規模の小さい中山間地域については、農地耕作条件改善事業を活用した畦畔除去による区画の拡大や暗渠排水の整備など、生産基盤の強化等により収益力の向上を図ります。

(4) 役割分担

主 体	役 割
国	● 補助事業制度の新設・拡充
県	● 事業計画の策定及び事業実施 ● 営農指導・経営指導
市町村 (農業委員会含む)	● 人・農地プランの策定 ● 市町村（圏域）としての推奨作物の指定 ● 営農促進計画の策定
土地改良区	● 地区役員会や換地等に係る調整
農業者	● 年間作業計画及び経営計画の作成 ● 作付け・営農の実施
試験研究機関	● 諸課題への技術的指導・助言
J A	● 営農指導及び流通確保
農地中間管理機構 (みやぎ農業振興公社)	● 農地中間管理権の設定 ● 機構制度を活用した農地整備事業との連携

(5) スケジュール

項 目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
関係機関と連携した事業 計画づくり					
農地整備事業等の実施 (基盤整備) [うち大区画]	400ha [360ha]	400ha [360ha]	400ha [360ha]	400ha [360ha]	400ha [360ha]
高収益作物の導入（新規）	9 地区	4 地区	2 地区	7 地区	2 地区
露地園芸団地の形成	3 団地				

(6) プロジェクトリーダー 農村整備課 ほ場整備班 (農村振興課 地域計画班)

(7) プロジェクト実施のための主要事業

- ✓ 農業競争力強化農地整備事業
- ✓ 農山漁村地域整備交付金
- ✓ 農地中間管理機構関連農地整備事業
- ✓ 農地耕作条件改善事業
- ✓ 中山間地域総合整備事業

## ②地域と関わりを持つ関係人口の創出プロジェクト

### (1) 現状と課題

- ・農山漁村地域の人口減少や高齢化の進展により、地域の若者不足や活動への参加者不足が深刻化しています。その結果、集落の維持が困難になりつつあり、地域が主体となり受け継がれてきた郷土食、伝統や文化を基軸とした「なりわい」の喪失が懸念されています。
- ・一方で、都市部の若い世代を中心に非日常体験や社会貢献活動への関心が高まっており、「田園回帰」や移住・定住志向など農山漁村地域が注目されています。このような動きを捉え、都市部からの人の流れを農山漁村地域が適切に受け入れられるような環境や体制を整備し、地域内活力を向上させることが求められています。
- ・そのため、地域を支える多様な人材の育成・確保とあわせて、これらの人材が持続的に地域と関わりが持てるよう、地域資源を活かした「なりわい」の創出による雇用機会や所得の確保、経済の地域内循環を進めていく必要があります。
- ・また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、農林漁家への民泊体験や農林漁業体験の予約キャンセルや延期が相次いでおり、農林漁業者をはじめとして農山漁村の地域経済に幅広く影響が現れています。



### (2) プロジェクトの推進指標

推進指標	基準年 (R1)	R7	R12
農山漁村交流交流拡大に取り組んだ企業・団体数 [団体]	-	55	80
都市と農村の交流活動に参加した人数 [人] ※1	284	320	400

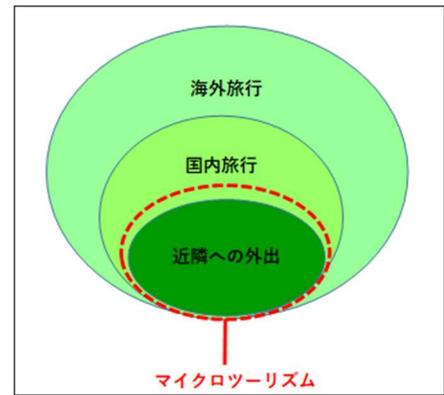
※1 集落体制づくり支援事業における実績人数

### (3) 具体的取組

- ・関係人口の創出と拡大を図るため、多様な主体が出会える場である「農山漁村交流拡大プラットフォーム」により、農泊や体験プログラムなどビジネスを展開したい農林漁業者や団体、さらには県内外の企業、個人等とのマッチングにより、ネットワークを拡大し、新たなビジネスの創出等、地域が自立して取り組む持続可能な地域づくりを支援します。
- ・農山漁村地域の集落機能を維持・強化するため、集落体制づくり支援事業により、地域の魅力や課題の発掘、地域資源の磨き上げなど、地域が主体的に行う話し合いや都市と農村の交流を促進する援農ボランティア、郷土芸能・郷土食の継承等の地域活動を支援します。



- ・新型コロナウイルス感染症対策を経て、新たに取り入れられた「新しい生活様式」の実践など、今後、長きにわたって取り組んでいく必要があることから、自宅から1時間の移動圏内の「地元」で観光する「マイクロツーリズム」により、安心・安全に過ごしながら地域の魅力を深く知るきっかけとなるように、農林漁家への民泊体験や農林漁業体験の受入状況等の情報発信に取り組みます。



#### (4) 役割分担

主 体	役 割
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農山漁村交流拡大プラットフォーム事務局の運営</li> <li>● 農山漁村地域における受入体制づくり支援</li> <li>● 地域コーディネーターの育成</li> <li>● 集落機能の維持・強化に向けた取組支援</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流ビジネスに取り組む事業者との連携・支援</li> <li>● 集落の活性化への取組支援</li> </ul>
農泊事業者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係人口創出・都市農村交流に向けた受入体制の整備</li> </ul>
都市部の企業や個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農山漁村地域との連携による関係人口の創出</li> </ul>

#### (5) スケジュール

項 目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
農山漁村交流拡大プラットフォーム交流会やモニターツアーの開催，都市農村マッチング			事務局の自立による継続		
受入体制づくり支援（地域の魅力発掘と課題の抽出，交流コンテンツ創出）					
地域コーディネーター育成研修会等の開催					
・援農ボランティア等の地域活動支援 ・関係人口による地域づくり支援			新規事業により継続		

#### (6) プロジェクトリーダー 農山漁村なりわい課 交流推進班

#### (7) プロジェクト実施のための主要事業

- ✓ 令和のむらづくり推進事業  
(農山漁村交流拡大プラットフォーム，集落体制づくり支援事業等)
- ✓ 地域資源・キャリア人材フル活用事業
- ✓ むらまち交流拡大推進事業

### ③農村の暮らしを守る防災・減災対策プロジェクト

#### (1) 現状と課題

- ・東日本大震災以降も、平成27年の関東東北豪雨災害や令和元年東日本台風災害など、自然災害が頻発化・激甚化する中、農業・農村の安全・安心な暮らしを実現する防災・減災対策の取組の重要性が一層増しています。
- ・本県には、農業用ため池が約5000か所存在し、その多くが明治時代以前に築造されたものとなっています。そのため、老朽化に伴う災害リスクが年々高まっているほか、ため池管理者の減少や高齢化により、管理体制の脆弱化が進んでいます。
- ・令和3年3月末現在、本県における防災重点農業用ため池は519か所となっています。そのうち、342か所ではハザードマップが作成され、順次、住民への周知が行われており、残るため池についても、早急な作成・公表が急務となっています。
- ・令和元年東日本台風では、白石市の逆川上ため池をはじめ6か所の防災重点ため池で堤体の決壊等が発生し、下流の家屋等のほか、農地、農業用施設にも被害が発生していることから、ため池の適切な保安全管理及び必要な対策工事が重要な課題となっています。
- ・また、近年の水災害による甚大な被害を受け、あらゆる関係者が協働して流域全体で対応する「流域治水」の取組が重要視されており、氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策として、水田の持つ雨水貯留能力を活用した「田んぼダム」の取組を推進していくことが課題となっています。



令和元年東日本台風で決壊した  
逆川上ため池(白石市)

#### (2) プロジェクトの推進指標

推進指標	R1 (基準年)	R7	R12
地震・豪雨対策に取り組む防災重点農業用ため池の数 [箇所]	-	9	35
田んぼダムを導入した面積 [ha]	26	330	630

#### (3) 具体的取組

- ・ため池が決壊する恐れが生じた際に、下流住民の迅速かつ安全な避難のため、ため池ハザードマップを作成し、地域住民に対して市町村が行う説明・公表を支援します。また、ため池管理者と関係機関との緊急連絡体制の整備を行います。
- ・地震や豪雨に対する堤体等の安全性を評価する「地震・豪雨耐性評価」及び堤体等の劣化の要因を分析し、現状の安全性を評価する「劣化状況評価」を行います。
- ・詳細調査結果により対策が必要なため池について、優先度が高いため池から対策工事を行います。また、市町村が行う対策工事について、技術的助言等を行います。
- ・ため池管理者の適正な保安全管理を支援するため、「宮城県ため池サポートセンター」を設置し、専門技術者による電話相談や技術的助言、現地パトロール、ため池管理者を対象とした技術力向上のための研修会などを実施します。
- ・田んぼダムのモデル地区を設定し、水田の排水口を絞り込んだ堰板を設置して水をためる「堰板方式」と自動給排水栓を活用して水田の水位を管理する「スマート田んぼダム方式」の2つの手法で実証比較し、効果検証や適地選定を行います。
- ・田んぼダムシンポジウムなどを通じてモデル地区の実証による効果を紹介し、田んぼダムへの県民理解の向上を図り、取組の普及拡大に努めていきます。

#### (4) 役割分担

[防災重点農業用ため池]

主 体	役 割
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「防災工事等基本指針」の策定（令和2年10月）</li> <li>● 必要な財政支援の継続又は拡充等</li> </ul>
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災重点農業用ため池の指定（市町村長からの意見聴取含む）</li> <li>● 「防災工事等推進計画」の策定・変更</li> <li>● 地震・豪雨耐性評価及び劣化状況評価の実施</li> <li>● ハザードマップの作成支援，防災工事等の実施</li> <li>● 土地改良事業団体連合会と連携したため池サポートセンターの運営</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハザードマップの作成・公表</li> <li>● 保管理体制の整備，防災工事等の実施</li> </ul>
施設所有者(管理者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な維持管理</li> </ul>
土地改良事業団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ため池サポートセンター運営に対する協力</li> <li>● 防災工事等実施者への技術的な指導，助言等の援助。</li> </ul>

[田んぼダム]

主 体	役 割
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要な財政支援の継続又は拡充等，補助事業制度の新設・拡充</li> </ul>
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資機材購入，効果検証による適地の選定，推進体制の構築</li> </ul>
市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普及拡大への取組，地元調整</li> </ul>
地元農家 (土地改良区含み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 田んぼダム堰板等設置・管理</li> </ul>
試験研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現地調査，適地選定に向けた効果検証支援・助言</li> </ul>

#### (5) スケジュール（令和3年3月時点予定）

項 目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
地震・豪雨耐性評価の実施 劣化状況評価の実施	90箇所	90箇所	90箇所	66箇所	
防災工事等の実施	1箇所	6箇所	2箇所		
ため池サポートセンターの設 置・運営	●				
田んぼダムの効果検証 (モデル地区)	設置・調査	調査・検証	取りまとめ		
田んぼダムの導入	60ha	60ha	60ha	60ha	60ha

※防災工事等の実施については詳細調査の結果を踏まえ，適宜，事業化の前倒しを検討。

(6) プロジェクトリーダー (ため池) 農村整備課 防災対策班  
(田んぼダム) 農村振興課 地域計画班 (農村整備課 ほ場整備班)

#### (7) プロジェクト実施のための主要事業

- ✓ 農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業）
- ✓ 農業水路等長寿命化・防災減災事業
- ✓ 農業競争力強化農地整備事業（スマート田んぼダム実証事業）
- ✓ 田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業

## 第6章 圏域計画

本県は、東は太平洋に面し、西には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり、中央部には肥沃な沖積平野が広がります。このように海・山・川・平野が調和した自然環境の中で地域毎に特色ある営農が行われています。

本章では、基本項目に基づいた各地域の重点取組等を圏域計画としてまとめています。

<宮城県圏域図>



## 1 広域仙南圏

### <地域の特徴と基本方針>

本圏域の産業構造は、稲作に頼らない多様な農林畜産業や交通アクセス網を活用した製造業の集積、豊かな自然環境を活かした観光関連産業といった特徴がありますが、中山間地域が多いことから人口減少率と高齢化率が高く、産業の担い手の減少と地域の活力低下が進んでいます。

それらの課題解決に向け、農林畜産業においては、生産技術や経営能力が高く、意欲を持った経営体が増加し、様々なニーズに応える多彩な農林畜産物の生産が拡大することを目指します。

#### ①儲ける農業の実現に向けた基盤整備

地域経済を支える「儲ける農業」の実現に向け、人材不足の解消、生産性の向上や需要に応じた作物生産が重要です。

そこで、中山間地域をはじめ、遅れている農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を計画的に推進し、意欲を持った経営体の確保と育成、収益性の高い多様な農業経営の展開を図ります。



七ヶ宿町（そば畑）

#### ②多様な主体が活躍できる地域活動の推進

人口減少や高齢化が進行する中で、農村を維持し活性化するためには、企業・地域・NPO等との連携強化等による「活力ある農村」を実現する必要があります。

そこで、地域住民等による地域資源の適切な保全管理活動のほか、地域を支える人材育成や関係人口の拡大を図る取組を支援していきます。



鳥獣防護柵の設置  
(ボランティアと共に)

## 2 広域仙台都市圏

### <地域の特徴と基本方針>

本圏域は、仙台市を中心に商・工業、流通拠点等が集まる都市圏で、日本三景松島をはじめ観光拠点にもなっています。一方、それを支える農林水産業も盛んな地域であり、東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部では、農地整備によりほ場の大区画化や農地の利用集積等で経営規模の拡大が進み、整備された農地では、ネギ、タマネギ、キャベツ、甘藷等の高収益作物の作付けが拡大し、乾田直播栽培の導入も進んでいます。他方、内陸部では未整備や昭和年代に整備された20～30a区画の水田が多く、効率的な農業経営の支障になっています。また、基幹的な農業水利施設の老朽化が進み、近年の集中豪雨等により大きな被害も発生しています。このことから、農地整備によるほ場の大区画化や農地の利用集積、農村地域の防災・減災対策等を進めます。

#### ①管内の均衡ある生産基盤整備の推進

アグリテックの普及による栽培技術の向上や農作業の効率化等と併せて、ほ場の大区画化や農地の利用集積等で労働力の節減や生産性の向上を図り経営規模の拡大を誘導し、畑作物等高収益作物の導入を進め、競争力のある多様な農業経営を支援します。また、中山間地域等においては、中山間地域等直接支払交付金等を活用し、地域の特性を活かした農地の整備やソバ等の地域ブランドの確立を支援します。



岩沼市 キャベツ畑  
(沿岸部 整備済地区)

#### ②農業水利施設の整備と防災・減災対策の推進

老朽化が進行している農業水利施設のストックマネジメントを促進し、防災重点ため池の耐震化や農業用ダムにおける洪水調節機能の有効活用、田んぼダムの取組等を推進します。また、湛水被害等の要因の一つとなる固定堰の可動化をはじめ農業用河川工作物の改修を計画的に進め、農村地域の防災・減災対策を進めます。



大和町 中山間地域  
(内陸部 整備予定地区)

### 3 広域大崎圏

#### <地域の特徴と基本方針>

本圏域は、江合・鳴瀬川の流域に広がる農業地帯で「大崎耕土」と呼ばれており、平成29年には国連食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産（GIAHS：ジアス）に登録され、ひとめぼれ・ササニシキ等の宮城のブランド米の産地です。また、大豆や麦類の作付けが盛んで高収益作物の推進を図っていますが、過疎化や高齢化の進行により後継者不足等の問題も抱えています。

このため、農業農村整備分野の施策を進め、農業の持続的な発展、集落営農組合や農業法人等の多様な主体が活躍できる農村の構築、防災・減災対策の強化を目指します。

#### ① 競争力と個性のある農業の持続的な発展

大豆、麦類の土地利用型作物の安定生産や高収益作物の導入を図るため、基幹的な水利施設の整備により排水不良を解消し、ほ場の大区画化・汎用化を推進します。また、生産性の向上と競争力の強化のため、市町や農業委員会等との連携を図り、担い手への農地の集積・集約化を推進します。



#### ② 次代へ引き継ぐ生産基盤の保全

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地・農業用水等の地域資源を適切に保管理する地域の共同活動や平地に比べ条件が不利な中山間地域等の農業・農村を維持する取組を支援します。

#### ③ 暮らしを守る安全な県土づくりの推進

排水機場等の整備・補修を計画的に実施するとともに、洪水緩和に資する田んぼダムの取組を普及していきます。また、農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、計画的に市町・改良区と共同で機能診断、補修、補強及び更新を実施し、長寿命化を図ることでライフサイクルコストの低減を目指します。



### 4 広域栗原圏

#### <地域の特徴と基本方針>

地域の過疎化や少子高齢化が進んでおり、農業・農村が持つ多面的機能を適切に維持・発揮させるための保全活動等の継続や、将来に向けて安定した所得を確保できる農業者の育成が課題となっています。また、管内の基幹的な農業水利施設は整備されているものの、水田整備率は、他の地域に比べ低い水準に留まっており、効率的で生産性の高い優良農地を確保し、競争力のある農業を実現するため、ほ場条件の整備と農地利用集積を推進していく必要があります。

#### ① 中山間地域の基盤整備と集落機能の維持向上

平地での農地整備と農地利用集積を推進するとともに、中山間地域や小規模集落における農業生産活動と多様な農業者の確保を図るため、地域特性に応じた農地整備や暗渠排水の導入等による耕作条件の改善に取り組みます。また、農地整備を契機とし、集落全体の機能向上と、地域住民による主体的な組織の運営を図るため、地域活動の企画や運営の支援を行い、住民の地域づくりへの積極的な関与を促します。



#### ② 農業水利施設の機能保全や地域防災力の強化

安定した農業経営や安全安心な暮らしを実現するため、農業用ため池や排水機場などの適切な機能保全対策や地域全体の防災意識の醸成など、防災・減災対策を進めることで、自然災害に対する農村の防災力向上を目指します。また、耐用年数を超えた農業水利施設が増加傾向にあることから、施設の機能を安定的に継続して発揮させるため、施設を計画的かつ効率的に補修、更新し、長寿命化を図ることでライフサイクルコストの低減を目指します。

## 5 広域石巻圏

### <地域の特徴と基本方針>

本圏域は、令和元年度末の大区画水田整備率が61%と県内でも突出しており、省力・低コストな稲・麦・大豆作や加工業務用野菜、施設園芸への取組など経営の高度化・大規模化が図られています。東日本大震災による農地等の復旧・復興を契機に沿岸部では、中核となる担い手や新たな生産組織・法人等が組織されたものの、後継者育成や新しい世代への継承に課題を感じており、内陸部では担い手の高齢化が急速に進み将来への危機感を抱いています。また、排水機場等の老朽化が著しく、近年のゲリラ豪雨への対応が懸念されています。

農業農村整備事業により農業水利施設をはじめ農業基盤整備を行い、担い手に集積・集約し営農の効率化・省力化を図るとともに、地域農業を継続するため次代を担う人材育成を目指します。

#### ① 震災からの復興と更なる地域課題の解決

地域課題の解決や持続可能な農業の確立のため、再整備を含め、農地の大区画化等基盤整備を進めるとともに農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積・集約化を推進します。

また、中山間地域等の地域営農を継続するため、状況に応じた補助事業の活用により地域を支援します。



#### ② 近年頻発する豪雨等に対応した基幹水利施設の機能確保

沿岸部の排水機場等は復旧がほぼ完了しているものの、耐用年数を超過し老朽化著しい排水機場等の基幹水利施設も多く、早急な対策が必要です。そのため、インフラ長寿命化計画等に基づき施設を計画的かつ効率的に整備、更新することにより長寿命化を図るとともに地域防災力の強化を推進します。



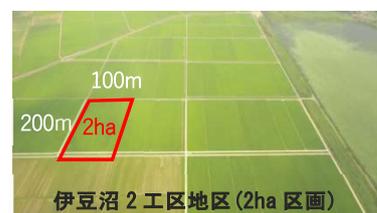
## 6 広域登米圏

### <地域の特徴と基本方針>

本圏域は、県北東部に位置し、北上川と迫川流域に広がる登米耕土は県内有数の農業地帯で、令和2年産米で2,428tと全国トップレベルの輸出量を誇り、水田整備率(20a区画以上)は令和元年度末現在で85%と県平均71%を大きく上回っています。また、牛、豚の飼養頭数やきゅうり、キャベツの生産量が県内第1位であり、豊かな地域資源や農業特性を生かした、農業農村の振興・活性化を目指して、優良農地の確保と農業水利施設の長寿命化を推進します。

#### ① 農業の成長産業化に向けた基盤整備

更なる効率的かつ生産性の高い優良農地確保のため、ほ場の大区画化及び汎用化を推進します。特に昭和40年代から整備された30a区画を標準とした管内の水田7,700haを「初期型ほ場整備地域」と位置づけ、大区画(2ha標準区画)に再整備し、中心経営体への農地集積、経営規模拡大やスマート農業の実現、高収益作物の導入を図るための取組を支援していきます。



#### ② 農業水利施設のストックマネジメントの推進

管内の基幹的農業水利施設の約8割が標準耐用年数を超過しており、経年劣化が原因による突発事故も発生していることから、施設の機能を安定的に維持させるため、計画的に予防保全対策及び更新整備を行うことにより長寿命化を図ります。また、国営造成施設の更新について関係機関と一体となって取り組みます。



## 7 広域気仙沼・本吉圏

### <地域の特徴と基本方針>

本圏域は、県の北東端に位置し、リアス式海岸が連なる変化に富んだ地形を有しています。また、近年の人口減少が県内でも最も進んでおり、高齢化率も高い地域となっています。

管内の農地は、リアス式海岸地形の特徴である、沿岸部から直接中山間地域となっており、まとまりが少なく点在しているため、そのほとんどが生産条件の不利な農地となっています。このことから、農業生産の効率化と優良農地の確保を目的に基盤整備を推進するとともに、農業・農村が有する多面的機能を適切に維持・発揮させるため、地域資源保全活動等の取組を支援します。

また、近年の豪雨や台風、地震により、農業用ため池が被災するケースが多発していることから、農業・農村の防災・減災対策を進めます。

#### ① 中山間地域における基盤整備の推進

管内の農地は典型的な中山間地の地形条件であるため、農地整備の実施により、維持管理の軽減を図るとともに、地域のブランドである「南三陸春告げやさい」「南三陸ねぎ」など、高収益作物の導入を推進し、販売先として県内外から多くの集客実績がある水産物直売所と連携するなど、収益性の高い農業経営の展開を支援します。また、農地中間管理機構と連携し担い手への農地集積を推進します。



気仙沼地区整備状況

#### ② 農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮

多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金については、農村の過疎化、高齢化等により活動の継続が困難となっている組織に対し、市町と連携し、組織の統合や広域化を視野に入れた活動支援を行い、将来にわたり農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図っていきます。



多面的機能増進活動

#### ③ 農業・農村における防災・減災対策の推進

防災重点農業用ため池の計画的な施設整備改修等によって、農村の防災力向上を図ります。

## 第7章 SDGsに関する取組

### 第1節 SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年に国際連合で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）は、2030年を目標年度とし、「誰一人取り残さない」持続可能な世界の実現に向け、貧困の撲滅や教育の充実、働きがいと経済成長の両立、気候変動への対策、陸や海の豊かさを守るといった17のゴール、169のターゲット（ゴールごとの詳細な方向性）から構成される「世界共通の目標」です。

本計画は、「次代に向けてた水郷をつなぐ みやぎの農業・農村」をキャッチフレーズにSDGsの理念を踏まえ、各種施策を展開していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの17のゴール

### 第2節 基本計画とSDGsの関係 (次ページを参照)

## 「みやぎ農業農村整備基本計画」と「SDGs(持続可能な開発目標)」の関係表

		1	2	3	4	5	6	7
※各施策欄に記載の数字は 各目標のターゲット番号を 記載しています。		 1 貧窮をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
		貧困	飢餓	健康・福祉	教育	ジェンダー	水・トイレ	エネルギー
<b>基本項目Ⅰ 「人口減少下で持続的に発展する農業の振興」 (儲ける農業)</b>								
施策1	先進技術等を活用した 農業生産の効率化と高度化		2.3 2.4					
施策2	基盤整備と集積・集約化に よる農地利用の高度化		2.3 2.4					
施策3	先進的大規模拠点を核とし た園芸産地の確立		2.3 2.4					
<b>基本項目Ⅱ 「多様な主体が活躍できる農村の構築」 (活力ある農村)</b>								
施策4	関係人口と共に創る 活力ある農村		2.3		4.4			
施策5	地域資源を活用した 多様ななりわいの創出		2.3		4.4			7.a
施策6	環境と調和した持続可能な 農業・農村づくり		2.4		4.4			
<b>基本項目Ⅲ 「自然災害に対応した農村地域の防災・減災対策の強化」 (強靱な農業・農村)</b>								
施策7	農業・農村の強靱化による 農村防災力の強化	1.5	2.4				6.3	
SDGsにおける17のゴールに関連する 宮城県農業農村整備計画の施策数		1	7	0	3	0	1	1

8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	備考
 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任・つかう責任	 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを増そう	 15 陸の豊かさも増そう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
働きがい・経済成長	産業・技術革新	不平等	住み続けられる街	つくる責任・つかう責任	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和・公正	パートナーシップ	
8.2	9.5				13.1		15.3			
8.2	9.4						15.3			
8.2	9.5						15.3			
8.2 8.5			11.a	12.8					17.17	
8.2 8.3	9.4			12.8					17.17	
				12.8			15.1 15.5		17.17	
			11.b		13.1					
5	4	0	2	3	2	0	4	0	3	36

# 第3期みやぎ農業農村整備基本計画

令和3年3月策定

編集・発行 宮城県農政部農村振興課

---

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2863 FAX 022-211-2890

E-mail nosonshinp@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin>